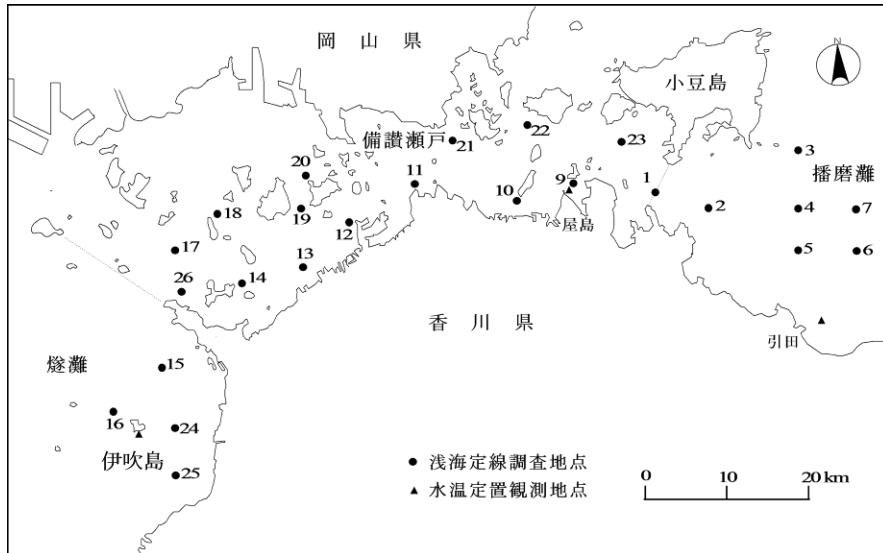


香川県漁海況情報 令和7年10月 (R7-7号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

令和7年10月1日（備讃瀬戸、燧灘）、10月2日（播磨灘）

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「かなり高め」から「著しく高め」、塩分は「やや低め」から「やや高め」、透明度は「平年並み」から「かなり高め」、溶存酸素は「著しく低め」から「やや高め」であった。

10月

		水温 (°C)			塩分 (PSU)			透明度 (m)	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層		表層	底層
播磨灘	7地点平均値	26.9	26.9	26.4	32.1	32.2	31.2	10.7	4.25	2.45
	平年値	25.3	25.2	25.1	31.5	31.6	31.8	7.5	4.28	3.96
	平年偏差	1.6	1.7	1.3	0.6	0.6	-0.5	3.3	-0.03	-1.51
	標準偏差(σ)	0.7	0.7	0.7	0.8	0.7	0.6	2.7	0.34	0.58
	状況	著しく高め	著しく高め	かなり高め	やや高め	やや高め	やや低め	やや高め	平年並み	著しく低め
備讃瀬戸	14地点平均値	27.3	27.2	27.0	32.0	32.0	32.1	8.3	4.63	4.39
	平年値	25.3	25.3	25.2	31.3	31.4	31.4	4.7	4.24	4.15
	平年偏差	2.0	1.9	1.8	0.7	0.7	0.7	3.6	0.39	0.24
	標準偏差(σ)	0.8	0.8	0.8	1.0	1.0	1.0	1.9	0.40	0.42
	状況	著しく高め	著しく高め	著しく高め	やや高め	やや高め	やや高め	かなり高め	やや高め	平年並み
燧灘	4地点平均値	27.4	27.3	27.3	32.1	32.2	32.3	9.7	4.57	3.25
	平年値	25.4	25.2	25.2	31.5	31.8	32.0	8.3	4.56	3.75
	平年偏差	2.0	2.1	2.1	0.6	0.4	0.3	1.5	0.01	-0.50
	標準偏差(σ)	0.8	0.7	0.8	1.0	0.8	0.7	3.3	0.39	0.86
	状況	著しく高め	著しく高め	著しく高め	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み

平年偏差=平均値-平年値

【平年値の算出期間】

平成3年(1991)1月～令和2年(2020)12月(水温は、毎月1日の値に補正)

平年並み

$0 \sigma \leq \text{平年偏差} < 0.6 \sigma$ (σ : 標準偏差)

やや高め (やや低め)

$0.6 \sigma \leq \text{平年偏差} < 1.3 \sigma$

かなり高め (かなり低め)

$1.3 \sigma \leq \text{平年偏差} < 2.0 \sigma$

著しく高め (著しく低め)

$2.0 \sigma \leq \text{平年偏差}$

3) 定置観測（水温）

- ・播磨灘（引田）

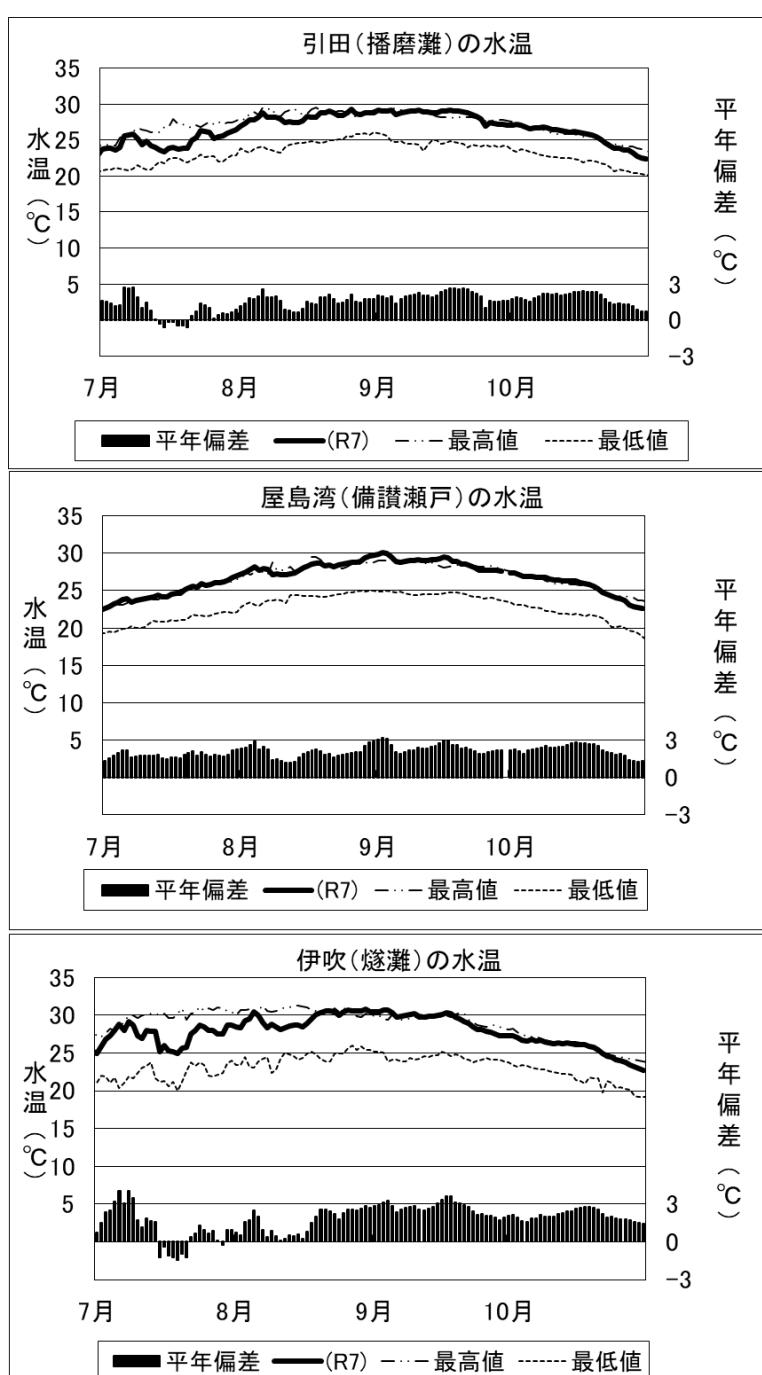
7月～9月は、概ね「平年並み」から「著しく高め」で推移した。10月は「著しく高め」であった。

- ・備讃瀬戸（屋島）

7月～9月は、概ね「かなり高め」から「著しく高め」で推移した。10月は「著しく高め」であった。

- ・燧灘（伊吹）

7月～9月は、概ね「平年並み」から「著しく高め」で推移した。10月は「著しく高め」であった。



*燧灘の水温は、平成31年4月1日から伊吹島地先で測定しているが、それ以前は大浜地先で測定していたことから、平年値の算出には両地先におけるデータを使用している。

*平年値の算出期間 引田・伊吹：平成元（1989）～令和6（2024）年、屋島：昭和50（1975）～令和6（2024）年

4) 赤潮 (10月1日～10月31日)

播磨灘：発生なし

備讃瀬戸：発生なし

燧灘：発生なし

5) 卵稚仔

調査日：令和7年10月1日（備讃瀬戸、燧灘）、10月2日（播磨灘）

出現量（個・尾／曳網）

		カタクチイワシ		マイワシ		その他の魚類	
		卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘	平均値	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	1.9
	平年値	1.7	0.2	0.0	0.0		
	対平年(%)	7.4	68.5	—	—		
備讃瀬戸	平均値	0.4	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2
	平年値	0.2	0.0	0.0	0.0		
	対平年(%)	239.6	0.0	—	—		
燧灘	平均値	13.1	0.6	0.0	0.0	0.0	0.6
	平年値	4.2	0.5	0.0	0.0		
	対平年(%)	309.8	123.2	—	—		
総平均	平均値	3.3	0.2	0.0	0.0	0.1	0.7
	平年値	1.5	0.2	0.0	0.0		
	対平年(%)	221.4	104.1	—	—		

—：平年値が0の場合を示す。（その他の魚類については平年値がない。）

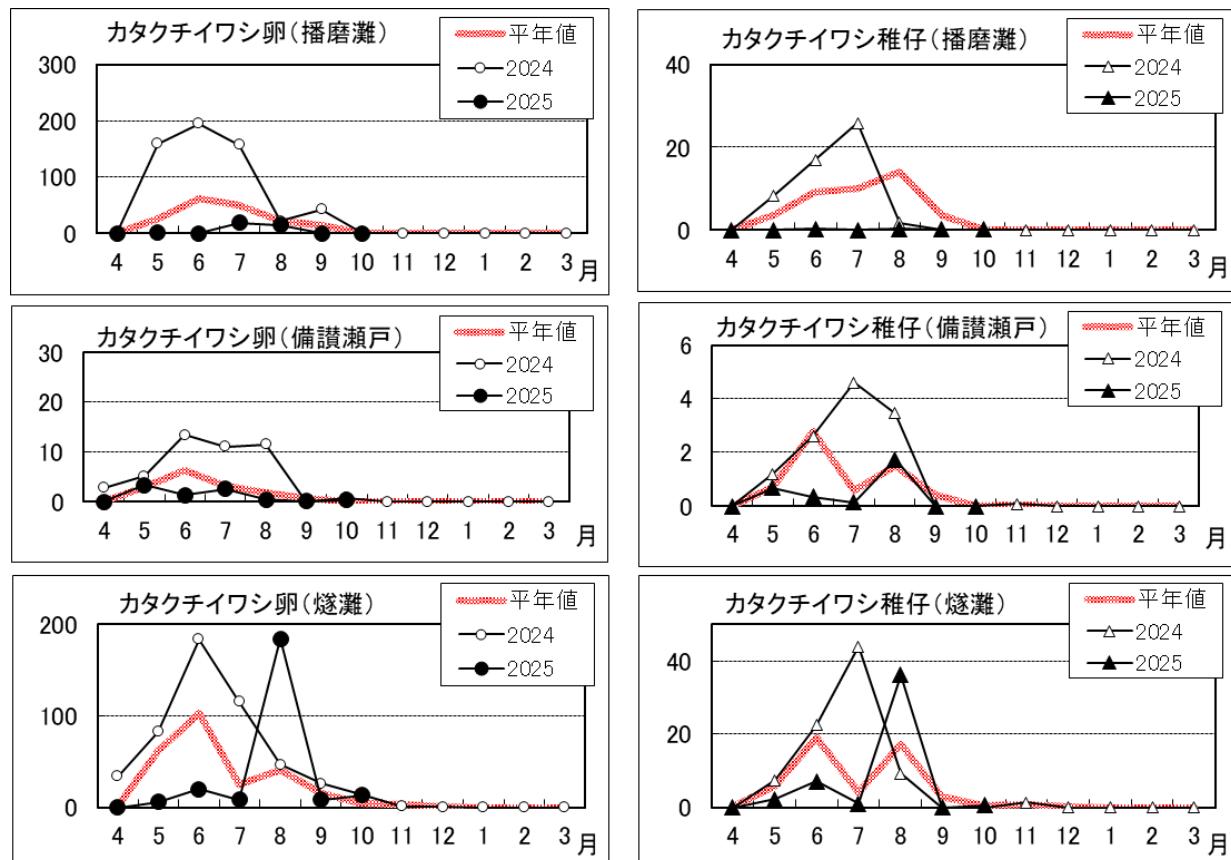
平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55（1980）年度～令和6（2024）年度

マイワシ：平成6（1994）年度～令和6（2024）年度

*マイワシの卵・稚仔は、平成14年度以降、確認されていない。

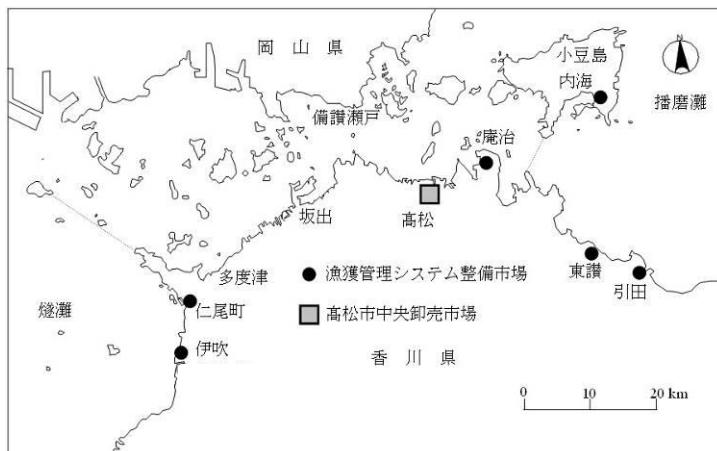
*イナゴの卵は、沈性弱粘着卵のため、プランクトンネットではほとんど採集されない。



2. 漁況

1) 主要魚種の漁獲動向

次の地図に示す市場から収集した情報に基づいて漁獲動向を整理した。



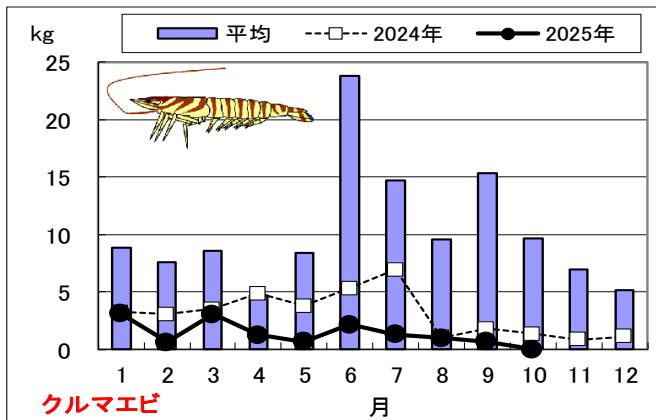
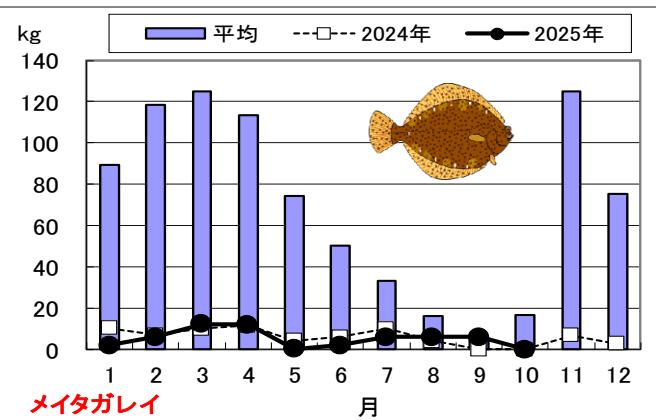
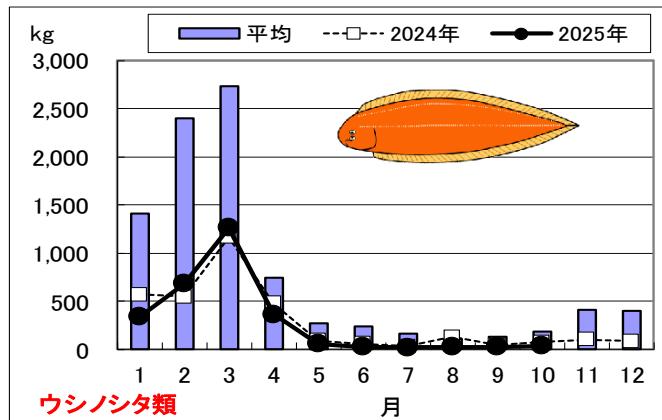
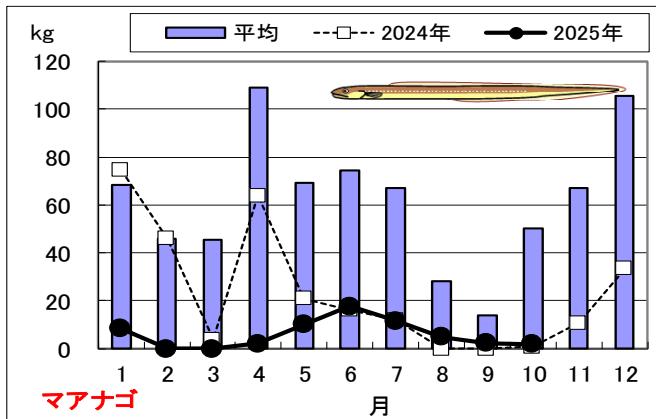
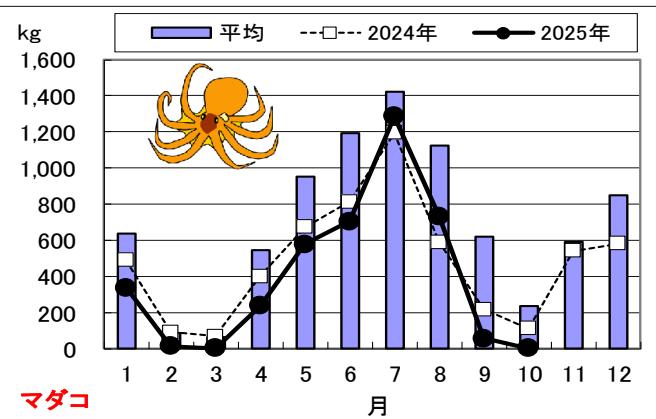
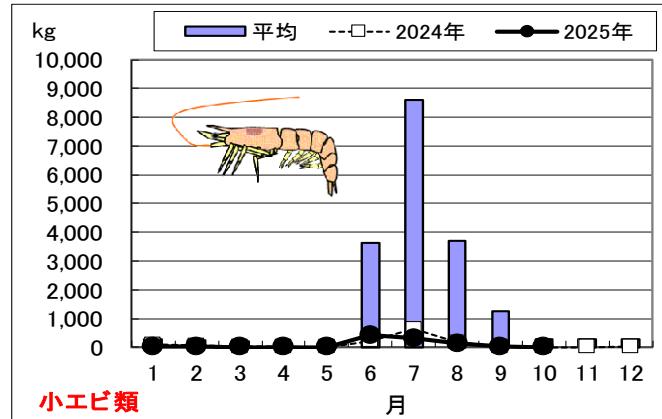
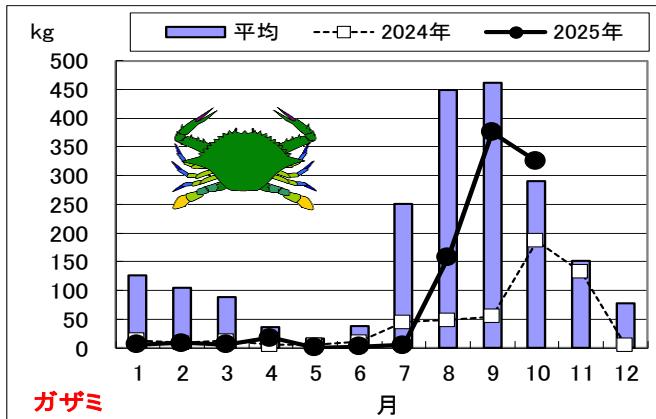
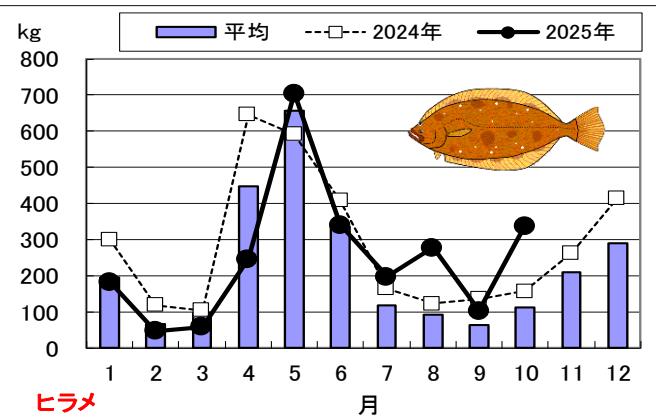
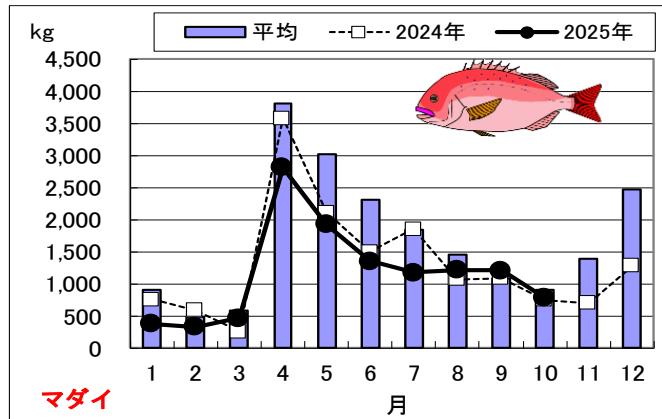
過去 10 ヶ年平均値と比較した海域別魚種別漁獲動向

令和7年10月 の漁獲動向	播磨灘 (引田+東讃+内海)	備讃瀬戸 (廉治)	燧灘 (仁尾町+伊吹)
マダイ	---	---	↓
ヒラメ	↑↑	↑	↑
ガザミ	---	---	---
小エビ類	↓	↓	↓
マダコ	↓	↓	↓
マアナゴ	↓	↓	↓
ウシノシタ 類	↓	---	↓
メイタガレイ	↓	↓	↓
クルマエビ	↓	---	---

過去10ヶ年 平均値比	$\geq 200\%$	$200\% > \geq 160\%$	$160\% > \geq 120\%$	$120\% > \geq 80\%$	$80\% > \geq 40\%$	$40\% > \geq 0\%$
判 定	著しく 多い	かなり 多い	多い	平年並み	少ない	かなり 少ない
表 示	↑↑	↑	↑	---	↓	↓

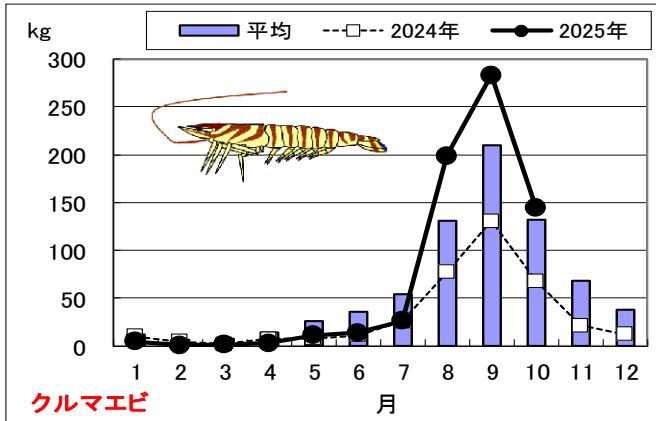
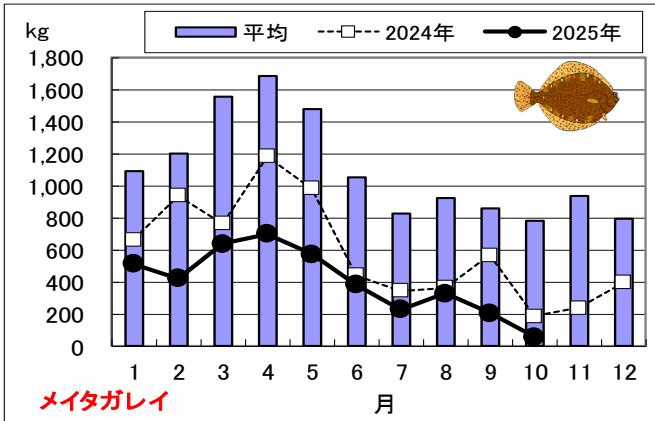
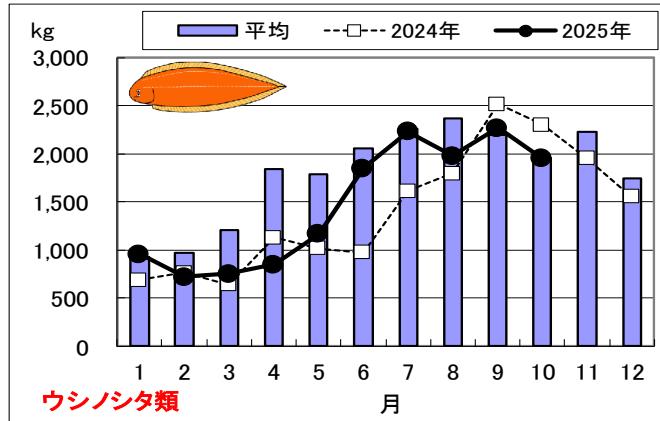
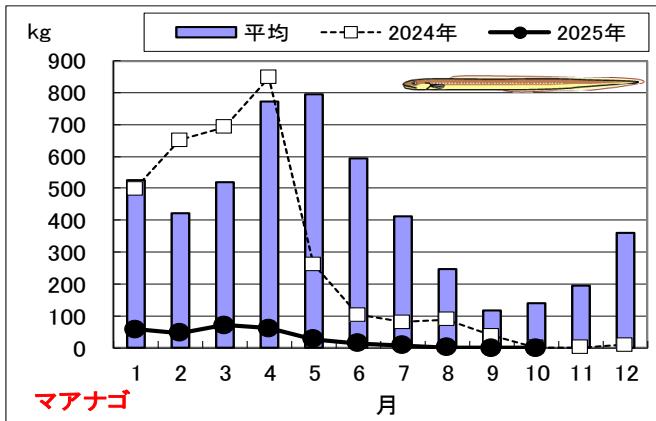
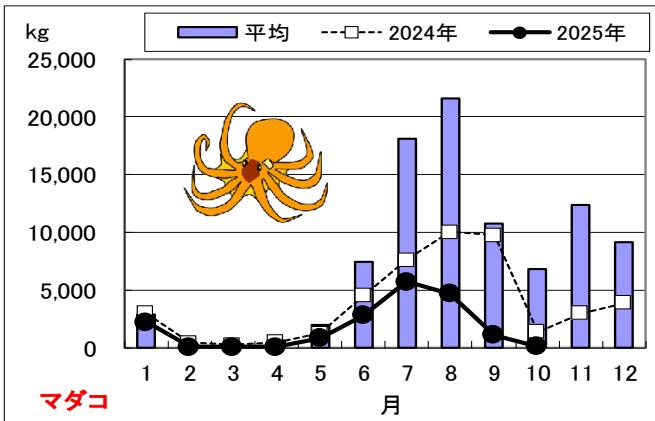
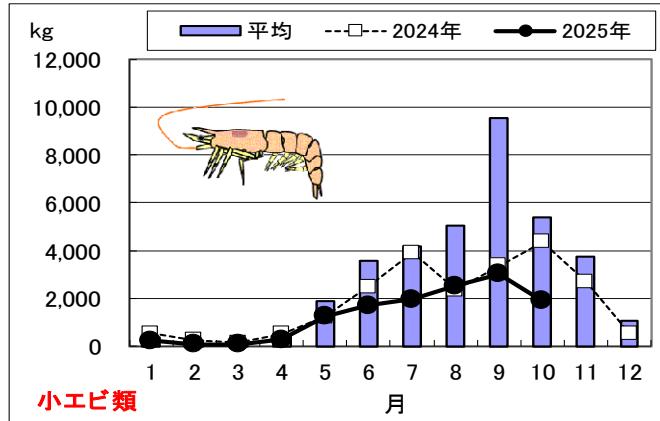
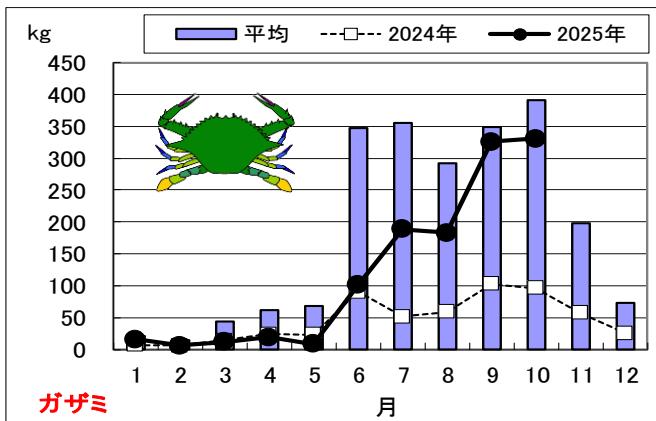
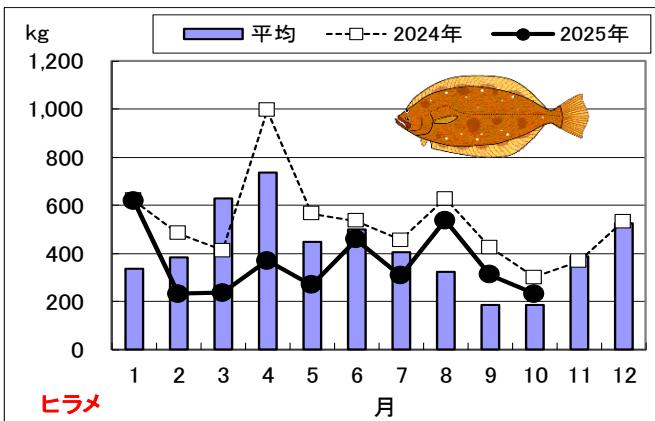
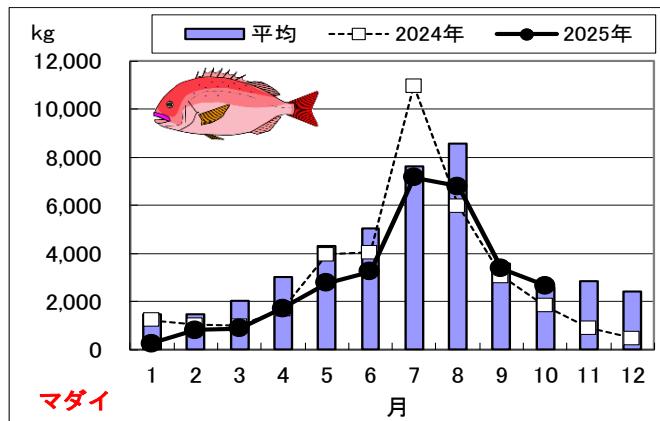
播磨灘（引田+東讃+内海） TACシステムデータより

平均値は、2015年から2024年の10年間の平均。



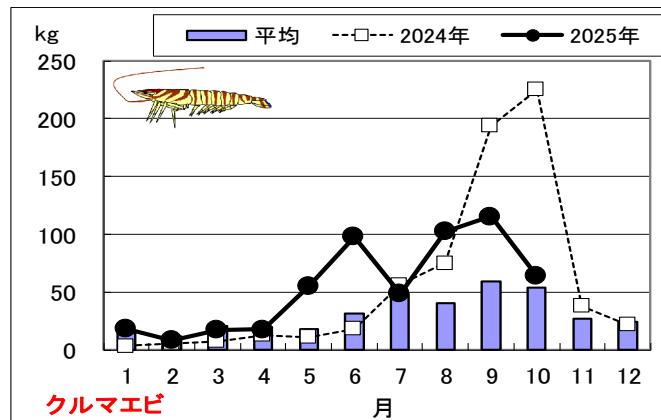
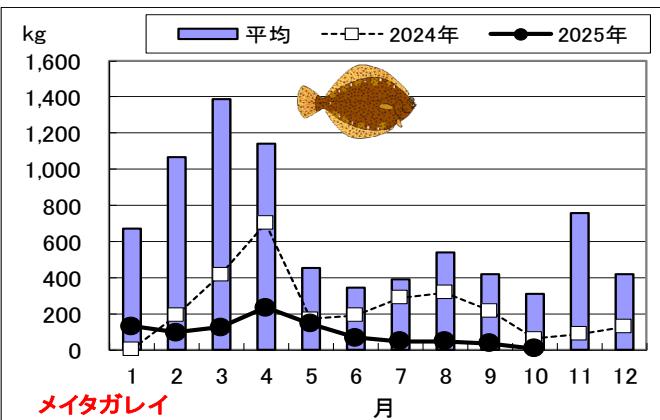
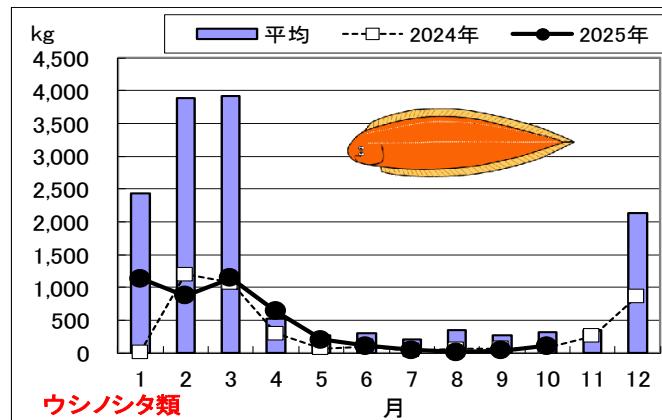
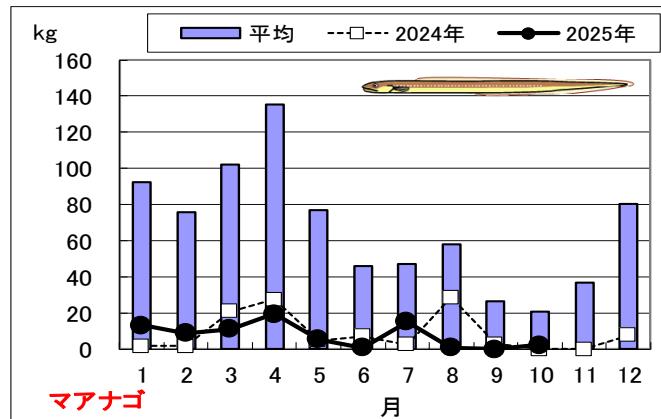
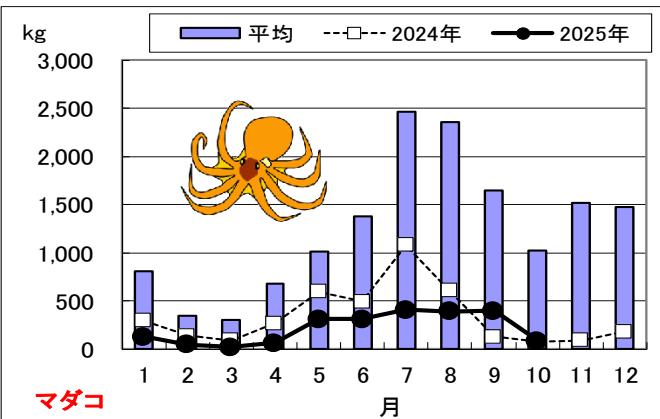
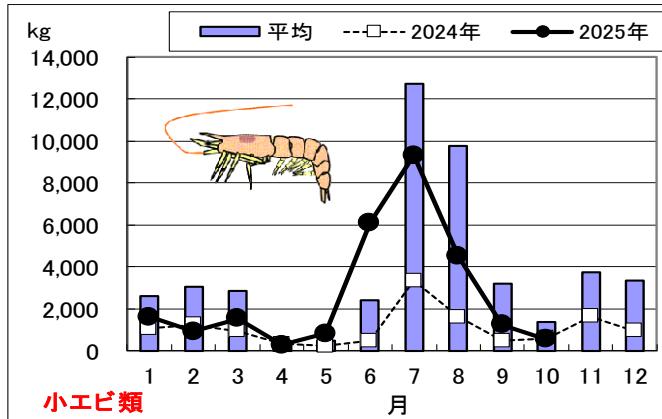
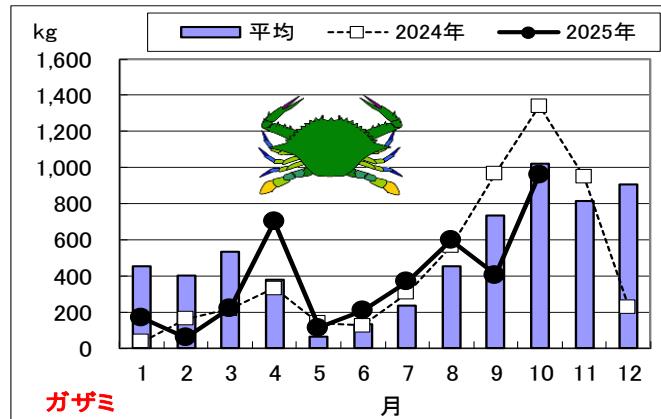
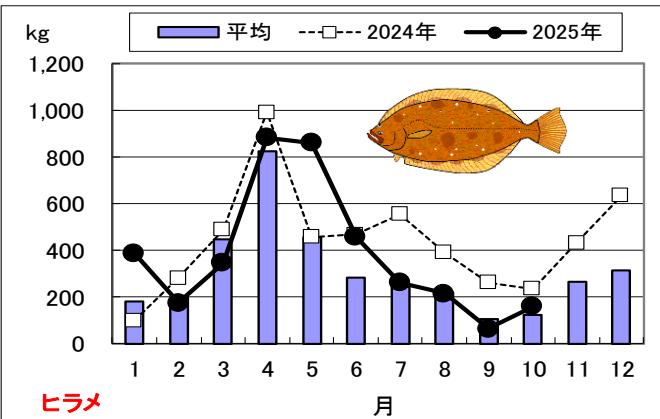
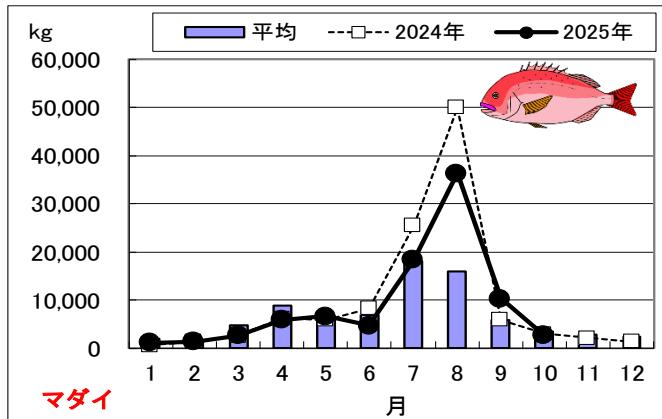
備讃瀬戸（庵治） TACシステムデータより

平均値は、2015年から2024年の10年間の平均。



燧灘（三豊市+伊吹） T A C システムデータより

平均値は、2015年から2024年の10年間の平均。



高松市中央卸売市場（県内産鮮魚：東讃・小豆・中讃・三豊地区からも入荷あり） 高松市HPより

平均値は、2015年から2024年の10年間の平均。

